

北野病院消化器センター外科で行われている疫学研究

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」にしたがい、北野病院消化器センター外科で行っている疫学研究に関する情報を公開しています。

疫学研究とは、ひとの病気の原因・病態の解明および予防、治療の方法の確立を目的とする研究です。当科では、過去の診療記録より得られた情報を利用して、下記の疫学研究を行っています。下記の疫学研究は、北野病院の「医の倫理委員会」で審査を受け、病院長の許可を得て実施されます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんにあらたなご負担をおかけするわけではありません。また、研究結果は学会や学術雑誌に発表されることがありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報(お名前など)が外部に公表されることはありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記メールアドレスにご連絡いただければ、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。また、下記研究に関して詳しい説明を希望される場合、下記連絡先にお問合せいただくか、担当医にお尋ねください。

【研究課題名】

肝内胆管癌におけるリンパ節転移予測モデルの構築

【目的と方法】

京都大学肝胆膵・移植外科と北野病院におけるデータを用いて、肝内胆管癌における領域リンパ節転移を予測するモデルを確立し、そのモデルが汎用性の高いモデルか否かを検証します。

【対象】

2006年1月から2016年8月まで肝内胆管癌と診断され切除を受けられた方を対象とします。

【研究期間】

許可日から3年間

【協力内容】

診断、治療のための画像や検査結果(血液検査・病理診断)などの資料をご提供いただきます。なお、患者さんのデータは全て北野病院内で匿名化され、その対応表も北野病院内のセキュリティーのかかったコンピューター内で保管されるので、個人情報が外部(この研究では京都大学肝胆膵・移植外科)に公表されることは一切ありません。

【研究組織】

研究代表者 北野病院消化器センター 主任部長 寺嶋宏明

当科の疫学研究に関する問合せ先
北野病院 消化器センター外科
主任部長 寺嶋宏明
Tel: 06-6312-8824
h-terashima@kitano-hp.or.jp